

街を楽しむ 暮らしを楽しむ 大人の情報紙

2017 9  
vol. 160  
発行/福島民友新聞社

# こおりやまゆう

w i d e

## この企業、こんな人。

地域に生きる ――― 〈50〉

公益財団法人 湯浅報恩会 理事長 湯浅大郎さんにインタビュー。

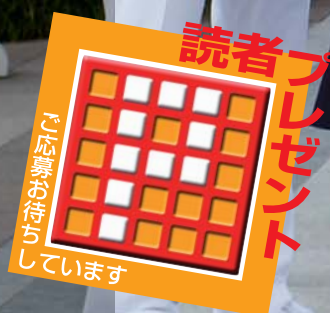
寿泉堂総合病院



表紙モデル/寿泉堂総合病院スタッフのみなさん

●この企業、こんな人。……………2P  
●なかまち夢通りかわら版……………3P

●おすすめ幼稚園特集……………4・5P  
●大好評! 読者プレゼント……………8P



「こおりやまゆう」は 郡山市・須賀川市・田村市・本宮市・猪苗代町・大玉村・小野町・三春町・天栄村・鏡石町・玉川村・平田村・石川町の読売新聞と福島民友新聞に折り込まれています  
「こおりやまゆう」は 毎月最終金曜日発行予定(10月号は9/29発行) 読売新聞のお申し込み ☎024-931-2216 民友新聞のお申し込み ☎0120-152-214

## 公益財団法人 湯浅報恩会 理事長 湯浅 大郎

**寿泉堂総合病院** 院長 金澤 正晴  
☎024-932-6363

**寿泉堂香久山病院** 院長 春山 和見  
☎024-932-6368

**寿泉堂クリニック** 院長 熊川 健二郎  
☎024-939-4616

**寿泉堂香久山居宅介護支援事業所**  
☎024-932-6501

### 関連施設

社会福祉法人 いずみ福祉会 **スプリングガーデンあさか**  
☎024-937-3737

医療法人 為進会 **寿泉堂松南病院**  
☎0248-73-4181



130 周年 ～これからも地域とともに～

# 手を携え、時にしのぎを削り、 地域に育ててもらった病院です。

公益財団法人 湯浅報恩会 理事長 湯浅太郎(ゆあさひろおさん)



公益財団法人湯浅報恩会  
寿泉堂総合病院  
創 立 明治20年  
住 所 郡山市駅前丁目1番17号  
TEL 024(932)9999  
https://www.jusendo.or.jp/



若いスタッフにも気軽に朗らかに接する理事長の湯浅太郎さん。「ストレスは誰にもあるので上手く付き合っていくことだと思っています。楽しめるならお酒も飲みます。職場の飲み会や趣味のツーリングには病院のライダーと出かけるなど、スタッフとはできるだけいろんなところで言葉を交わしたいですね」



玄関前にある湯浅為之進の胸像と



北側にあるステンドグラス

## 郡山で一番古い病院

寿泉堂総合病院は、今年創立130周年を迎えます。

「地域に育ててもらった病院です」

寿泉堂総合病院を運営する、公益財団法人湯浅報恩会理事長の湯浅太郎さんは、法学部の出身で、六代目の理事長に就任して8年になります。

寿泉堂総合病院の歴史は、今から130年前、明治20年に山口県出身の湯浅為之進が帝国大学医科大学(東京大学医学部の前身)を卒業後、開通したばかりの東北線に乗り、当時の終点であった郡山駅に降り立った時から始まります。

「為之進は、車内で偶然隣り合わせた郡山の旧家・川口半右衛門の勧めで郡山に落ち着くことになりました。駅からは金透小学校の白亜の殿堂がよく見え、小さな町に立派な教育施設があったことで、将来この地は必ず繁栄すると感じたようです」

郡山で初めての医学士であった為之進は、川口家の隠居所で「湯浅医院」を開院。場所は現在居酒屋となっており、煉瓦調のレトロな建物です。

「年中無休で働き、病人が運ばれ、見たこともない処置

や処方、調剤で良くなつていく患者さんの姿に、町の人の信頼を得ていったそうです。そして、出身地へのこだわりを持たずに、温かく迎えていただいたと思います」

その後、二度の世界大戦、労働組合の運動が活発になるなど危機的状況もありながら、少しずつ量と質の拡充を図り今日に至ります。

「郡山市には古い民間の病院が多く、国や県も既存の病院を上手く活用してきました。当院は規模で言えば遅れを取っているところもあるかもしれませんが、このジャンルでは寿泉堂と自信を持つて言えるものがあり、心から尊敬できる先輩や、学校の友人や後輩もいる市内の病院と手を携えて、時にしのぎを削ってやってきたという自負があります」

## 人生観を変える出来事

代々医師の家に育ち、将来は経営面で病院を支えていこうと考えていた湯浅さんは、大学卒業後、研修のために一年ほど、産婦人科の医院に勤めました。

「産婦人科はいろんな意味で医療の原点であり、母親も赤ちゃんも安全に帰って当たり前という期待の中、大変なリスクを背負っているところ。

知り合いの方に、そのような現場を見ておくことは将来必ず役に立つからと、男女産み分けの第一人者の先生がいる、東京の杉山産婦人科医院を紹介していただきました」

そこで事務の仕事が無給でしながら、医療従事者の仕事の現状を見せてもらいました。

「当時はまだ、女の子しか産めない井戸に身を投げなければならぬという地方からひびいた状況で訪ねてくる方もいれば、都内のお金持ちで、女の子でなければ子どもはいらないという自身のエゴから産み分けを希望する方もいて、人のいろんな姿を知り、様々な経験をさせていただきました」

## 患者さん第一

寿泉堂総合病院には「患者さん第一」という理念があります。

「患者さんによい医療を提供するためには、まず自分たちが満足し、時に楽しみ、仕事に誇りが持てなければなりません」

今年の創立130周年の記念パーティーは、全職員と院内で働く調理、清掃、警備

などのスタッフを招いて行われます。

医療の現場には、まだまだ医師が疲弊している現実があり、地域の医療を支えるためにも、寿泉堂総合病院はスタッフの働き方改革を進めています。

「為之進の時代には、胃潰瘍を患いながらも、自分が動けるうちは血を吐いても患者さんのために尽くすのが当たり前だと、スタッフの制止を振り切って、往診に向かったという記録が残っています。『患者さん第一』とは、患者さんの立場になって考えるという意味で、例えば患者さんが自分の母親だったら、どうするか考えるということとです。患者さん自身が持つ自然治癒力に力を貸すのが医療ですから、患者さんと医療従事者はいつも対等だといふことでもあります。今ではよく言われることを、もう100年以上前から言い続けてきたことに我々はこだわりの持つべきではないのかと私は折に触れて話しています。理事長というのとは、たぶん語り部なのだと思うのです。初代の思いを真面目に話す人はなかなかいません。自分分は医師ではありませんがだからこそ伝えていかなければならない、『一番大事な『心柱』だと思っています』